

2021年7月12日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

BtoC 向け ID 基盤サービス「SELMID」をバージョンアップ デジタル資格証明の発行や非対面での本人確認の機能を追加

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都港区、略称:CTC)は、BtoC 向け ID 基盤クラウドサービス「SELMID(セルミッド)」に、分散型台帳技術を利用した「デジタル資格証明の発行機能」と、マイナンバーカードや携帯電話事業者が保有する契約情報と照合してオンライン上で本人確認を支援する「本人確認支援機能」を追加しました。SELMID は、初期費用 100 万円(税抜き)、月額 10 万円(税抜き)からで、サービス全体として 2 年間で 2 億円の売上を目指します。

インターネットやスマートフォンの普及に伴い、オンライン上での会員登録やキャッシュレス決済などのアプリケーションサービスが広がる中、簡単な操作により非対面での本人確認が行える仕組みが求められています。

今回追加するデジタル資格証明の発行機能は、ブロックチェーンを含めた分散型台帳や公開鍵暗号などの技術を活用して、オンライン上で証明書の発行を可能にするものです。大学や企業などの機関が管理している個人に関する資格情報をスマートフォン上にデジタル資格証明書として発行することができます。本機能はマイクロソフトが 2021 年 4 月からプレビュー版として公開している「Azure Active Directory Verifiable Credentials^{※1}」のサービスをベースに開発しており、分散型 ID 分野において CTC はマイクロソフトのソリューションパートナーとして認定されています。

本人確認支援機能は、xID(クロスアイディ)株式会社のマイナンバーカードの公的個人認証と連携して本人確認が行えるデジタル ID ソリューション「xID API^{※2}」と、携帯電話の契約者情報を利用してオンライン上での本人確認を可能にする株式会社NTTドコモの「本人確認アシスト API^{※3}」、KDDI 株式会社の「本人確認支援サービス^{※4}」とも連携し、身分証明書のアップロードや個人情報の入力の手間を省いて、アプリケーションでの本人確認を支援するものです。

CTC は、2018 年 11 月から「SELMID」を提供しており、教育機関や民間企業向けに学生や会員のアカウント管理と認証機能を持つ IDaaS (Identity as a Service)として既に実績があります。

本プレスリリースに関連して、7 月 16 日(金) 12:00-13:00 で「SELMID と Azure AD Verifiable Credentials で実現する分散型 ID」と題したウェビナーを日本マイクロソフト株式会社の協賛で開催します。

申し込みページ:

<https://ctc-form.jp/public/seminar/view/7204>

※1 Azure Active Directory Verifiable Credentials の紹介ページ :

<https://www.microsoft.com/ja-jp/security/business/identity-access-management/verifiable-credentials>

※2 xID API の紹介ページ : <https://xid.inc/products>

※3 本人確認アシストAPI の紹介ページ : <https://www.nttdocomo.co.jp/biz/service/kyc/>

※4 本人確認支援サービスの紹介ページ : <https://iot.kddi.com/services/identification/>

※ Azure Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail : press@ctc-g.co.jp